

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

邪悪も 狂気も 悦楽も すべて光に溶けてゆく

SHOSTAKOVICH:  
Violin Concerto No. 1 in A minor, op. 77

ショスタコーヴィチ:  
ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 作品77

BOHDANA FROLYAK: Let There Be Light  
ボーダナ・フロリャク: 光あれ

BARTÓK: Suite "The Miraculous Mandarin"  
バルトーク: 組曲「中国の不思議な役人」

LYNYIV — "The Miraculous Mandarin"



Conductor  
**OKSANA LYNIV**

©Oleksandr Samojlov

ウィーン・フィルやMETで活躍!  
欧州で注目を浴びるマエストロ

指揮 オクサーナ・リーニフ



Violin  
**YAMEN SAADI**

ストラディヴァリの銘器を奏で  
ウィーン・フィルを率いる新星

ヴァイオリン ヤメン・サーディ

YNSO Subscription  
Concert No. 647  
Mon. 21 Apr. 2025  
19:00 Suntory Hall

読売日本交響楽団 第647回 定期演奏会

2025 4.21<月>19:00

サントリーホール

S ¥8,800 A ¥7,700

B ¥6,600 C ¥5,000

読響チケットセンター

0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網  
読売テレビ、読売日本交響楽団  
協力: アフラック生命保険株式会社

# 注目の指揮者リーニフが 読響《定期》に初登場!

## ウィーン・フィルを率いる新星サーディが共演

4月の《定期演奏会》には、ポーロニヤ歌劇場の音楽監督を務めているウクライナ出身のオクサーナ・リーニフが登場する。彼女は、2021年にパイロイト音楽祭に女性指揮者として初めて登場して注目を浴び、24年にはメトロポリタン歌劇場へデビュー。25年2月にはザルツブルクの「モーツァルト週間」でウィーン・フィルを指揮し、成功を収めた。ミュンヘン・フィルやウィーン響などとも共演し、オペラとシンフォニーの両方で活躍している。今回、読響《定期》への初登場でどのような音楽づくりを展開するのか、期待が高まる。

指揮

オクサーナ・リーニフ

ポーロニヤ歌劇場の音楽監督を務め、欧米で注目を浴びる新鋭指揮者。2021年にパイロイト音楽祭初の女性指揮者となり、24年まで「さまよえるオランダ人」を指揮した。24年2月にはメトロポリタン歌劇場にデビューし成功を収め、25年2月にはザルツブルクの「モーツァルト週間」にてウィーン・フィルを振り、好評を博した。ミュンヘン・フィル、ウィーン響、バイエルン放送響、ベルリン・ドイツ響、ロンドン・フィル、バーミンガム市響などに客演するほか、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、パリ・オペラ座、ローマ歌劇場などで活躍。ウクライナ出身。これまでにウクライナ国立オデッサ歌劇場の副首席指揮者、グラーツ歌劇場の首席指揮者などを歴任。今年4月には「東京・春・音楽祭」で読響と「蝶々夫人」で初共演する。

©Oleh Paviuchenkov

メインは、バルトークの組曲「中国の不思議な役人」。グロテスクでセクシュアルな情念渦巻く作品で、ストラヴィンスキーの「春の祭典」と比べられるような原始性と近代性を持ち合わせている。オペラに長けたリーニフのタクトは、この物語を色彩豊かに描き、ドラマティックな音楽を展開させるだろう。

その前に並べたのは、1968年生まれウクライナを代表する女性作曲家フロリヤクの「光あれ」。ロシア・ウクライナ戦争にインスピレーションを得て2023年に書かれた曲で、ラヴェルやストラヴィンスキーら20世紀の作曲家の影響を感じさせる交響詩だ。故郷への熱い思いを胸に、リーニフが希望を込める。

前半には、ショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番を披露する。独奏を務めるのは1997年イスラエルのナザレ生まれのヤメン・サーディ。2022年に25歳の若さでウィーン国立歌劇場管のコンサートマスターとなり、世界最高峰の楽団ウィーン・フィルのコンサートマスターに新たに就任する注目の新星ヴァイオリニストだ。今回が、日本の楽団と初共演となる。演奏テクニックはもちろんのこと、その類稀な音楽性は世界の名だたるマエストロやソリストからも高い評価を得ており、ショスタコーヴィチの傑作でその実力を遺憾なく発揮するだろう。



ヴァイオリン

ヤメン・サーディ

2022年からウィーン国立歌劇場管のコンサートマスターを務める新星。ソリスト、室内楽奏者としても活躍し、ベルリン・モルゲンポスト紙に「魅惑のサウンド」と評された。ソリストとしてバレンボイム、カヴァコス、ポツベンらの指揮で、ベルリン国立歌劇場管、イスラエル・フィル、ヨーロップ室内管、ポーランド国立放送響、バレンシア管、クレメラータ・パルティカなどと共演。カーネギーホール、ラインガウ音楽祭などで演奏。ナザレに生まれ。同地のバレンボイム＝サイド音楽院でヴァイオリンを学び、11歳でウエスト＝イースタン・ディヴァン管に入団、17歳で同団のコンサートマスターに就任。クロンベルク・アカデミーで修士号を取得。使用楽器は、クライスラーが9年間弾いた銘器、1734年製のストラディヴァリウス「ロード・アマースト・オブ・ハックニー」。

読売日本交響楽団 第647回 定期演奏会

2025年4月21日〈月〉19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800 / A ¥7,700 / B ¥6,600 / C ¥5,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyoku.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ <https://yomikyoku.or.jp/>